

## コンゴ(共)月例報告

2016年4月

- 4日、憲法裁判所によりサス・ンゲソ大統領の再選が発表。23日、サス・ンゲソ大統領は銀行家のクレマン・ムアンバ氏を首相に任命。30日、ムアンバ内閣の閣僚リストが発表された。
- 4日未明、ブラザビル市内南部にて政府軍と武装組織の間で、2時間近くにわたり銃撃戦が行われた。政府は、右武装組織をニンジャと発表。
- 5日、6日及び8日、国軍の戦闘用ヘリコプターが、ニンジャの指導者であるンツミ牧師の活動拠点プール県を砲撃。23日、共和国検事はンツミ牧師に対して逮捕状を発出。

◎特にソースが明記されていない場合は、「Les Dépêches de Brazzaville」、仏通信 (AFP) 及び仏ラジオ国際放送局 (RFI) による

### 1 内政

#### (1) 大統領選挙結果から組閣まで

##### ア 大統領選挙結果

・4日夜、イロキ憲法裁判所長は、3月20日に実施された大統領選挙第一回投票の投票率は68.92%であり、サス・ンゲソ候補が60.10%を獲得した旨承認し、同候補が大統領に再選された旨発表した。16日、ブラザビル市内国会議事堂においてサス・ンゲソ大統領の就任式が行われ約1000名が参加した。

##### イ 首相任命

・23日、サス・ンゲソ大統領は、中部アフリカ諸国中央銀行 (BEAC) 幹部やリスバ前政権における財務大臣を歴任した経歴を有するクレマン・ムアンバ氏を首相に任命した。

##### ウ 組閣

・30日、ムアンバ内閣の閣僚リストが発表された。

#### (2) プール県、ブラザビル市内南部で発生した騒乱

##### ア ブラザビル市内南部

・4日未明、ブラザビル市内南部バコンゴ地区において重火器を使用した政府軍と武装組織の間で、2時間近くにわたり銃撃戦が行われた。同日、政府は、反政府武装組織ニンジャ (1998年から2003年までの内戦時にフレデリック・ビンサム (通称:ンツミ牧師) が率いた反乱軍) がブラザビル市南部に進入し、国軍及び警察署数棟を攻撃し、区役所1棟を放火し、市民が避難する事態が生じた旨発表した。

・5日、政府は4日以降の被害状況を発表した。人的被害は死者17名 (内、反政府武装勢力12名、治安部隊3名、市民2名)、負傷者数は治安部隊6名及び市民数名。物的被害は警察署6棟、区役所1棟、水・森林税関事務所2棟、多くの車両の放火、武器・弾薬の略奪。また、同日、治安部隊は元ニンジャの兵士約50名を尋問した。

##### イ 国軍によるプール県への攻撃

・5日、6日及び8日、国軍の戦闘用ヘリコプター2機が、ンツミ牧師の活動拠点とされるプール県（首都ブラザビル南方45キロ）にて砲撃し村内の建物を壊滅し、民間人の被害も出た。

#### ウ ンツミ牧師への逮捕状

・6日付大統領令は、2007年にンツミ牧師が任命された共和国大統領付代表（平和・戦争復興担当）を罷免する旨を発表した。23日、オコ共和国検事は、ンツミ牧師、同師の実弟シルバン・リシヤール・ビンサム及びエリ・マランダの3名に対する逮捕状を発出した。罪状は、違法な戦闘用武器・弾薬の所持罪、窃盗罪、故意の放火罪、暗殺罪、暗殺未遂罪、国家に対する内乱罪。

#### オ 国際NGOによる調査

・18日、国際NGOアムネスティ・インターナショナルは、政府によるプール県内空爆は学校、医療機関、教会及び住居にも命中している旨、右爆撃を受けた地域は無人地帯となり多くの人々が避難している旨、また、少なくとも遺体30体を目撃した旨を発表した。

### (2) 野党の反応

#### ア コレラ候補

・6日、大統領選挙第2位であったゲイ・ブリス・パルフェ・コレラ氏（コンゴ民主統合発展運動（M CDDI）幹事長、現国民議会議員）は、自身の支持者に対して、大統領選挙の結果を受け入れるように呼びかけた。また、26日、コレラ氏は国民議会議長に対してプール県に関する調査要請書を提出した。

#### イ 野党プラットフォーム

・8日、ボワオ野党プラットフォームコーディネーターは、大統領選挙投票日以降、全国で40から50名の野党運動幹部と野党支持者が逮捕されている旨述べた。11日、同氏は、15日に、ブラザビル市内にて平和と国家団結のための集会を開催する旨告知したが、同日になり治安部隊によって野党候補者の自宅が包囲され、野党幹部が不法逮捕されているという理由でデモを延期した。

### (3) 国際社会の反応

#### ア 非難声明（国連、米、EU、仏）

・5日、バティリ国連事務総長特別代表（中部アフリカ担当）は声明を発出し、一連の騒乱に関し、武力対立、混乱、一部の国民が避難せざるを得ない状況に対して強い懸念を表明し、暴力行為を強く非難し、対話及び合意の重要性を強調した。

・7日、米 국무省は声明を発出し、大統領選挙プロセス、不正行為、選挙後の野党支持者の逮捕につき言及し、国民議会議員選挙前に多くの欠陥を修正し、全関係者が建設的・開放的な対話に参加するよう呼びかけた。

・7日、モゲリーニEU上級代表は声明を発出し、選挙のガバナンス及び選挙結果の信用性に疑問を呈し、一連の騒乱に関し暴力・工作行為の抑制を呼びかけた。また、国民議会議員選挙にて基本的な自由の尊重し、透明性ある投票を確保するよう呼びかけた。

- ・ 19日、ロマン・ナダル仏外務省報道官は声明を発出し、軍事行動の被害が市民に及んでいるとされるプール県の状況を懸念しフォローしており、しかるべき機関(国連、国際赤十字)によって解明され、人道支援へのアクセスが保証されることを希望する旨述べた。

#### イ 祝福

- ・ 7日、習近平中国主席はサス・ンゲソ大統領の勝利を祝福した。
- ・ 12日、サス・ンゲソ大統領が党首を務めるコンゴ労働党(PCT)は、ツイッターにて、南ア、アンゴラ、カメルーン、中国、ガボン、赤道ギニア、モロッコ、モーリタニア、ロシア、ルワンダ、チャドの国家元首が同大統領を祝福した旨発表した。
- ・ 18日、ユリ・センチュリン・ロシア国務次官・エネルギー副大臣は、ガコソ外務・協力大臣を表敬訪問した。

#### ウ 二国間関係(コンゴ(民), 中ア)

- ・ 11日、ンガコ外務・協力大臣が、チバンダ・コンゴ(民)外務・国際協力大臣を訪問し、サス・ンゲソ大統領の就任式(16日)に関するカビラ・コンゴ(民)大統領宛招待状を手交した。
- ・ 26日、トゥアデラ中ア新大統領は、サス・ンゲソ大統領を表敬訪問し、サス・ンゲソ大統領の再選を祝福し、二国間の友情につき強調した。

### 4 社会

#### (1) 国内の治安状況

14日夜、プール県内の国道1号線上、キンダンバ(ブラザビル西北70キロ)・マヤマ(同140キロ)間において、武装集団が車両9台(タクシー2台、トヨタ四駆1台、トラック6台)の搭乗者を威嚇し、金銭及び携帯電話等を強奪した後、車両を放火した。19日午前、ポワント・ノワール市ルツサラ地区にて銃声が響いた。

#### (2) アフリカニュースの放送開始

20日、ユーロニュースの100%子会社であり、ポワント・ノワール市に本社を有するアフリカニュースが、サブサハラ33か国において、本年1月のインターネット配信開始に続き、テレビ放送を開始した。右放送は現在、6か月間の無料配信期間中であり、英語及び仏語で発信され、2つの衛星を経由してサブサハラ33か国の730万世帯が受信している。

### 5 経済

#### (1) 市場(インフラ・農業・投資・金融など)

- ・ 14日、コンゴ(共)の国営航空である赤道コンゴ航空(EcAir)は、中部アフリカ金融市場において、5年国債(利率6%)600億CFAフラン(約9150ユーロ)分を発行した。本国債は、機体への投資、航空網の拡大、ブラザビル空港内のメンテナンス・センター開設及び研修施設の強化に使われる予定。

#### (2) 対外関係

#### ア 中国

- ・ 14日、ジョンボ森林経済・持続的開発大臣と中国系企業2社は、ニアリ県及びプール県における合計9.2万ヘクタールの森林区画の活用方法にかかる協定(今後5年間で300万ユーロ)に署名した。
- ・ 17日、陳政高・中国住宅都市農村建設大臣は、ブヤ大統領府付国土整備・大型事業団担当大臣及びンシル建設・都市化・住宅大臣と共に、ブラザビル市内で中国が建設中のインフラ事業3件、①高架橋建設計画(1.5億ユーロ)、②スポーツ施設建設計画(5.8億ユーロ)及び③ビジネスセンター建設計画(4.6億ユーロ)を視察した。
- ・ 26日、夏煌駐ブラザビル中国大使は、ジョンボ森林経済・持続的開発大臣への表敬し、記者に対して2件、①毎年6ヘクタールの植林の実現、②本年1月、中国政府がオザラ公園管理のために7万米ドルを供与した旨述べた。
- ・ 27日、ブヤ大統領府付国土整備・大型事業団担当大臣は、ブラザビル市内で中国が建設しているキンテレ会議センターの現場視察を行った。同事業では、8ヘクタールの敷地内に、会議センター及び5階建4つ星ホテル(200室)を建設している。

#### イ EU

26日、デ・ラングEU代表団大使は、3分野(統治・司法, 社会・保健, 地方開発)において、地方自治体・非営利団体10団体に対して、総額35億CFAフラン(533万ユーロ)を無償供与した。

(了)